

2022年10月7日

報道関係者各位

可変性家具「HiNGE(ヒンジ)」が2022年度グッドデザイン賞を受賞

オーダーメイドDIYキット販売店「CODD(コッド)」が居住形態に依らない家具を開発

大東建託株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:小林克満)は、10月7日、当社が開発した可変性家具「HiNGE(ヒンジ)」において、「2022年度グッドデザイン賞」(主催:公益財団法人日本デザイン振興会)を受賞しました。今回の受賞は、昨年の「住宅用機器・設備」分類における住宅用建材の受賞※に続き、2年連続の受賞となります。

今回受賞した「HiNGE」とは、賃貸住宅の住み替え時など、様々な空間に柔軟に設置することができる家具です。当社の社内ベンチャー制度「ミライノベーター」から誕生したオーダーメイドDIYキット販売店「CODD(コッド)」と、国内の若手クリエイターFOG(フォグ)とのコラボレーションにより開発されました。棚脚の部分が特徴的な設計となっており、可変性と可動性に優れたフレキシブルな構造が、多様化するライフスタイルやライフステージの変化に対応できる、新しい家具の形です。

※ 2021年10月20日 ニュースリリース
住宅用建材「防蟻集水桧」「エアコンドレン管固定用部材」において、2021年度グッドデザイン賞を受賞
https://www.kentaku.co.jp/corporate/pr/info/2021/gooddesign_1020.html

GOOD DESIGN AWARD 2022



可変性家具「HiNGE」

■ 転居時の搬出入にも対応、住む場所に捉われない可変性家具をデザイン

HiNGEとは、扉の開閉に使用する蝶番(=ヒンジ)の可動性から着想を得て開発された、4種のパーツから構成される可変性家具です。可動性のある棚脚により、組み合わせ方次第で何通りもの形にすることが可能です。

賃貸住宅の転居時に発生する家具の搬出入を考慮し、「シチュエーションに応じてカスタマイズできること」をデザイン要件とし、当社の新規事業である「CODD」と若手クリエイターのFOG(フォグ)が、新しい空間・家具・インテリアと価値観を創造していくプロジェクト「CODD Plus」から生まれました。ライフステージの変化に合わせてアップデートしながら永く大切に使い続けられる、恒久性の高い新しい家具の形としてデザインしています。



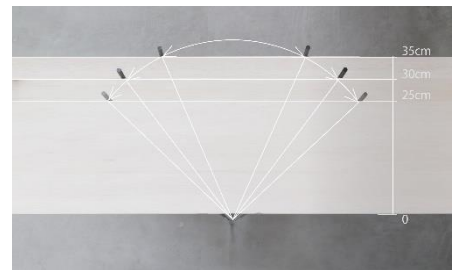
組立時、分解時に工具不要のシンプルな仕組み

HiNGE WEBサイト:

<https://codd-ec.com/pages/hinge>

■ 形状・用途のアレンジを可能にした、「HiNGE」の高い汎用性

HiNGEは、3本1組のスチール製の脚を開閉することにより、あらゆる棚板の寸法や家具にフィットさせることが可能です。決められた家具の形がない「未完の家具」をコンセプトに、ユーザーの目的に応じて自由に棚板の差し替えや形状・用途のアレンジができる、高い汎用性が大きな特徴です。また、蝶番の垂直加重を分散させる特性を活かした構造で耐荷重性にも優れており、2脚使用時の耐荷重は、軽自動車約2台分に相当する1.5tとなっています。



棚板の奥行に応じて角度の調整が可能

<機能のポイント>

●可変性

蝶番の可動性を応用することで、ミリ単位で奥行方向の微調整が可能。幅広く棚板のサイズや形状に対応可能。

●拡張性・更新性

4種のパーツの組み合わせ方で自由にカスタマイズできる。パーツを増やすことでサイズを拡張したり、パーツのラインナップ追加などにより、家具のアップデートが可能。

●ポータビリティ・環境配慮

折り畳んでコンパクトな専用バッグに収納できるため、組み立て・解体・持ち運びが容易。コンパクトなため発送時の環境負荷も削減。



パーツの追加で無数に広がるバリエーション



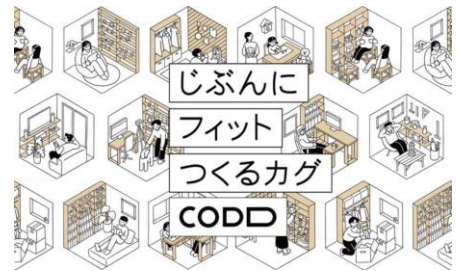
専用バッグには低炭素系エコ素材のウォッシュブルペーパーを採用し、リサイクルも可能



組み合わせ次第で様々なシーン・インテリアにも合わせられる

■ 当社開発担当のコメント

HiNGEはクリエイターとのコラボレート家具第1弾です。当社は家具製品の開発のノウハウがないため、デザイン・機能・強度のバランスを保つ製品設計に時間を要しました。特に蝶番部は、溶接の形状を幾度も検証した結果、10mmと細いシャフトながらも1.5tの荷重に耐える強度に仕上げることができました。間取りにピッタリとシンデレラフィットする、原状回復可能な家具を扱うCODDでは、これからも住空間への新しい提案と共に、環境に配慮した持続可能な商品設計と、若手クリエイターの支援を続けていきます。



オーダーメイドDIYキット販売店「CODD」:<https://codd-ec.com/>

<デザイナー>



FOG代表 桐 圭佑

2009-17 藤本壮介建築設計事務所勤務

2017 KIRI ARCHITECTS設立

2021 福岡国際コンペティション優秀賞

2021 AR HOUSE AWARDS shortlisted / BEST15

2021 三栄建築設計住宅設計競技 最優秀賞

2022 2025年日本国際博覧会休憩所等設計業務プロポーザル 優秀者選出

2022 横浜市公共建築100周年記念設計コンペ 入賞

■ グッドデザイン賞審査委員による評価コメント(原文)

別の用途で使用されていた金属加工技術を活かして現代のライフスタイルに対応した汎用性の高いデザインと、商品化を実現する高度な技術が融合した美しいプロダクト。4種の最小限のパーツであるが、ヒンジの技術を採用することで強度を確保しながら組み立て時の煩わしさからも解放された、だれでも簡単に組み立てることができる利便性を高く評価した。また棚の奥行きやサイズだけでなく、使い方によってサイドテーブルになるなど、用途のフレキシビリティも現代的な手法で新鮮であった。

■ グッドデザイン賞とは

グッドデザイン賞は、1957年創設のグッドデザイン商品選定制度を継承する、日本を代表するデザインの評価とプロモーションの活動です。国内外の多くの企業や団体が参加する世界的なデザイン賞として、暮らしの質の向上を図るとともに、社会の課題やテーマの解決にデザインを活かすことを目的に、毎年実施されています。受賞のシンボルである「Gマーク」は優れたデザインの象徴として広く親しまれています。

グッドデザイン賞WEBサイト:<https://www.g-mark.org/>